

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【公開番号】特開 2004-115815 (P2004-115815A)

【公開日】平成 16 年 4 月 15 日 (2004.4.15)

【年通号数】公開・登録公報 2004-015

【出願番号】特願 2003-380323 (P2003-380323)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 K 21/14

C 0 8 K 5/5399

C 0 8 L 85/02

C 0 8 L 101/00

C 0 9 K 21/12

【F I】

C 0 9 K 21/14

C 0 8 K 5/5399

C 0 8 L 85/02

C 0 8 L 101/00

C 0 9 K 21/12

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 15 日 (2005.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

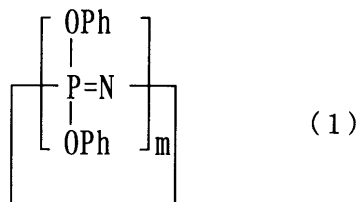
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

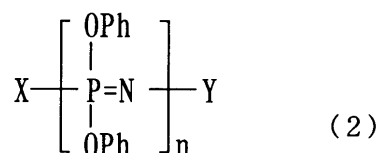
熱可塑性樹脂又は熱硬化性樹脂 100 重量部に対し、  
一般式 (1)

【化 1】



[ 式中 m は 3 ~ 25 の整数を示す。Ph はフェニル基を示す。 ]  
で表される環状ホスファゼン化合物及び一般式 (2)

【化 2】



[ 式中 X は基 - N = P ( O P h )<sub>3</sub> 又は基 - N = P ( O ) O P h を示し、Y は基 - P ( O P h )<sub>4</sub> 又は基 - P ( O ) ( O P h )<sub>2</sub> を示す。n は 3 ~ 1000 の整数を示す。Ph は前

記に同じ。]

で表される直鎖状ホスファゼン化合物からなる群より選ばれた少なくとも１種のホスファゼン化合物からなる難燃剤 ０．１～１００重量部、及び  
無機質充填剤 ０．０１～５０重量部  
 を配合した難燃性樹脂組成物。

【請求項２】

熱硬化性樹脂 １００重量部に対し、請求項１に記載の難燃剤 ０．１～１００重量部、及び  
 無機質充填剤 ０．０１～５０重量部を配合した、請求項１に記載の難燃性樹脂組成物。

【請求項３】

熱硬化性樹脂がエポキシ樹脂である、請求項２に記載の難燃性樹脂組成物。

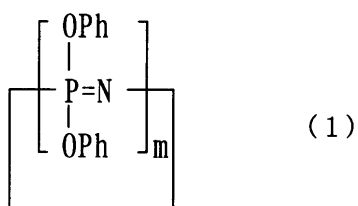
【請求項４】

請求項１～請求項３のいずれかに記載の難燃性樹脂組成物を成形して得ることができる難燃性樹脂成形体。

【請求項５】

熱可塑性樹脂又は熱硬化性樹脂 １００重量部に対し、  
一般式（１）

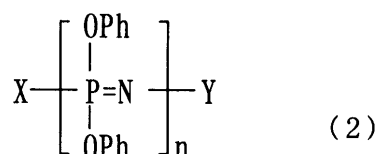
【化３】



[ 式中mは３～２５の整数を示す。Phはフェニル基を示す。 ]

で表される環状ホスファゼン化合物及び一般式（２）

【化４】



[ 式中Xは基 -  $\text{N}=\text{P}(\text{OPh})_3$  又は基 -  $\text{N}=\text{P}(\text{O})\text{OPh}$  を示し、Yは基 -  $\text{P}(\text{OPh})_4$  又は基 -  $\text{P}(\text{O})(\text{OPh})_2$  を示す。nは３～１０００の整数を示す。Phは前記に同じ。 ]

で表される直鎖状ホスファゼン化合物からなる群より選ばれた少なくとも１種のホスファゼン化合物からなる難燃剤 ０．１～５０重量部、及び  
ハロゲン含有しない有機リン化合物 ０．１～５０重量部  
 を配合した難燃性樹脂組成物。

【請求項６】

請求項５に記載の難燃性樹脂組成物を成形して得ることができる難燃性樹脂成形体。